

OUVC1 号投資事業有限責任組合が 株式会社メディタクトへの投資を実行

2018 年 12 月 18 日

大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社(以下「OUVC」)(本社:大阪府吹田市、代表取締役社長:神保敏明)を無限責任組合員とする、OUVC1号投資事業有限責任組合(以下「OUVC1号ファンド」)は、7月17日付で、株式会社メディタクト(以下「メディタクト」)(本社:大阪府箕面市、代表取締役:村山真一)に対し、5,000万円の投資を実行いたしました。

メディタクトは今回の投資によって調達した資金をもとに、研究開発および設備投資を行ない、抗リウマチ薬に対する、治療効果予測技術に関するサービスを展開します。

・メディタクトの事業内容

メディタクトは、大阪大学大学院情報科学科・吉崎和幸招へい教授の、治療前患者個人毎の血清中バイオマーカー情報と患者個々の臨床治療情報に基づいて統計解析を活用した治療効果予測技術を社会実装する目的で、2018年6月に設立されました。まずは抗リウマチ薬をターゲットとして、徐々に抗がん剤などにターゲットの幅を拡大します。

リウマチの治療にバイオ医薬品が導入されるようになり、導入前に比べて、炎症の鎮静化などの治療効果は劇的に高まりました。現在では十数種類のバイオ医薬品が開発されていますが、患者個人の性状に対して治療薬が合わなかった場合、患者に大きな費用負担が生じると同時に、関節痛が持続し、関節破壊が進行します。リウマチは発症してから2年程度までで関節破壊が大きく進行するため、治療開始時に個人の性状と薬が合わなかった場合、取り返しのつかないほどの身体障害につながる可能性もあります。なお現状では、それぞれのバイオ医薬品の有効性は一般的に50%程度といわれています。メディタクトの有する治療効果予測技術は、機械学習を活用したデータ解析により、患者個人の性状に対する医薬品の効果を予測し、適切な治療薬の選択を可能としてリウマチ治療の効率化をねらうものです。即ち、オバマ前大統領が年頭演説で提唱した Precision Medicine (精密治療)を推進するもので、遺伝子解析ではなく分子レベルの解析を用い、廉価で、簡便で、安定的な検査をリウマチ分野で行うものです。

・メディタクトへの投資意義

メディタクトの有する治療効果予測技術から得られる、治療薬の選択による治療向上は、患者個人の性状と医薬品との不適合によって経済的負担や症状悪化に苦しむリウマチ患者を救う可能性を秘めています。社会的意義の高い検査技術であると同時に、日本の医療技術の発展にも寄与するものと考えられます。将来的には経済的負担を軽減させる個別改良を目指すものですが、その前段階で医療経済を安定

化させるものです。

また、日本だけでも国内約 70 万人の患者のうち約 20 万人の患者が抗リウマチ薬を処方されているといわれており、世界規模で見れば相当数(人口の約 1%)の患者が存在します。リウマチ患者の絶対数は高齢化に伴い今後増え続けると予想されていることから、「適切な薬を治療開始前に患者へ届ける」というニーズは大きく、メディタクトの提供するサービスはリウマチ治療には必須の検査法になると考えられ、抗リウマチ薬市場に大きなインパクトを与えるものと想定されます。

以上を鑑み、OUVC が投資する意義は、患者の治療のみならず、社会的にも、医療経済的にも、さらに医療行政的にも大きいと判断しました。なお、メディタクトは大阪大学内外の研究機関などと連携し、開発を進めると同時に、OUVC は積極的な支援を継続的に行ないます。

・メディタクトの概要

| | |
|---------|-----------------------------|
| 設立 | 2018 年 6 月 |
| 事業内容 | 抗リウマチ薬を中心とした治療効果予測技術サービスの提供 |
| 所在地 | 大阪府箕面市 |
| 代表取締役社長 | 村山 真一(むらやま しんいち) |

以上

【お問い合わせ先】

大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社 (広報担当:経営企画部)

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番8号 テクノアライアンス棟4階

TEL : 06-6879-4982 FAX : 06-6105-5210 E-mail : info@ouvc.co.jp